

大学院生シンポジウム GS01

循環器研究の最前線と新展開～心血管疾患における治療法のブレイクスルーを求めて～ The front line and new progress in cardiovascular research -Searching for breakthrough in treatments of cardiovascular disease-

石田 裕丈¹, 森田 茜²

¹静岡県大院薬, ²北里大薬

本国の死亡者数を死因別で見ると、心臓・血管系疾患が悪性新生物に次いで第2位となっている。死因だけでなく合併症などを含めると相当数の患者が推定されているが、十分な医療が行き渡っているとは言い難い。新薬の開発や治療法の確立のためには、病態発生機序の解析や心筋、血管平滑筋での生理的機能が明らかとなっていない因子の検討が必要である。これらの因子を包括的に理解するには、*in vitro*と*in vivo*の相互補完が重要である。そこで本シンポジウムでは、皮膚循環・網膜血管形成等の解析困難な微小循環や代謝異常に起因する組織間ネットワークの破綻が心・血管機能に与える影響などのテーマを中心に議論していく。タンパク1分子レベルから細胞・個体レベルまでを、様々な方法や疾患モデルを用いて解析することで、多くの因子によって発生する心臓・血管系疾患に関する基礎研究の今後の道筋を提示し得るシンポジウムになると思われる。どのシンポジストの研究内容も独創性が高く、他の領域の研究者を含む聴講者にも自身の研究に新たな展望を見出すことが出来るシンポジウムとなっている。本シンポジウムが、薬学の将来を担う若手研究者達が交流できる絶好の場となることを期待する。